

青年部情報化の手引き



愛媛県商工会青年部連合会

青年部 IT 推進研究会

目 次

1 . パソコンを購入する前に	2
2 . 起動・終了	9
3 . 文字入力	13
4 . ファイルとフォルダの操作	22
5 . メール	26
6 . インターネット	29
7 . ウイルス・セキュリティ	31
8 . 情報化社会のモラル	34
9 . Tips	37

監 修

平成16年度IT推進研究会

県青連会長	上 田 雄 一
大西町商工会青年部	越 智 英 明
松前町商工会青年部	上 田 修
内子町商工会青年部	沖 野 義 政
野村町商工会青年部	河 野 信 介
津島町商工会青年部	中 川 慎 一

1 . パソコンを購入する前に

初めてパソコンを購入される方は是非お読み下さい

初めてのパソコン選びは分からないことばかりです。パソコンは安いので購入時には念入りに検討しなければなりません。しかしパソコンをもっていない人にとっては、何に注意して選んだらよいのかわからないでしょう。多くの方、特に初めて購入されたパソコンを使用しておられます方のほとんどの方がご自分の目的とは異なったマシンを使用されているのが実態です

パソコンと言っても、デスクトップからノートまで、5万円パソコンから40万超の高級マシンまで、メーカー製から自作までと、いろんな分類の仕方が思い浮かびます。

今回は重要なポイントだけにしぼり、細かい内容は省かせていただいております。ほんの少しでも参考にさせていただければとてもうれしく思います。

なお、初めてパソコンを購入する場合でOSはWindowsXP、大手メーカー製のタイプは液晶モニターデスクトップかノートパソコンのいずれかの購入を検討するという前提で話を進めます。

(今回オリジナルモデル、自作品等は検討対象から省かせていただきます)

まずパソコンで自分がどこで何をするのか決めるべし。

自分の使用目的用途を確認する。これが一番大切。

パソコンを買った後で後悔しないようにするもっとも確実な方法は、

パソコンを何のために使うのか

と最初に目的を確認してください。ここで明確に目的がはっきりしない時点で購入機種やタイプを決めることはあまりよくありません。

パソコンで何をしたいのか？

を明確にしておくのと、購入希望機種が見えてくると思います。

主に電子メール、インターネットをやりたい。

このような方が結構いらっしゃるようです。そのような用途なら安価なもので十分です。

デジタルカメラやデジタルビデオで何か面白いものを作りたい。

この場合画像処理と言う作業が加わりますので、そこそこ高額なモデルが必要になってきます

年賀状、暑中見舞いを綺麗に鮮やかに作りたい。

簡単に作成したい場合は筆まめ等のハガキ作成ソフトが最初から付属されている方が良いでしょう。さらにプリンタが必要ですが、最近のプリンタは店頭価格2万円程で『早くて綺麗』なインクジェットカラープリンタがあります。

事務処理などをパソコンを使って出来るようになりたい。

事務系ソフト(ワード、エクセルなど)を使いこなして仕事にも活かしたい。

この場合もそんなに高価なパソコンは必要ないでしょう。ただし仕事で使うならマイクロソフトのワード、エクセルが一般化になっていますのでマイクロソフト OFFICE X P が付属されている方が得ですね。

ホームページを作りたい。

ご自分のホームページを作って楽しみたいのであれば高価なパソコンは必要ありません。ホームページ用のソフトが付属してあるパソコンも有ります。

デザインをやりたい。

この場合が一番高つくのは間違いないのですが、まずパソコン自体の性能と処理能力が求められます。言い出したらきりがありませんがペンティアム4 2.5GHz以上。メモリは512MBは欲しいところです。このあたりの性能のパソコンは20万円から40万円くらいのものです。

ノート型？ デスクトップ型？

パソコンには大きく分けてデスクトップ型とノート型があります。どちらにするかを選択しましょう。

デザインで選ぶのは論外です。

それぞれ利点と欠点があります。ご自分のパソコンのライフスタイルに合わせて選ぶのがベストです。

デスクトップの長所短所

- 長所は価格に対して性能が良く、拡張性、整備性が良い。
- 短所は大きい事です、
- 使用場所の移動には向いていない
一度その場に設置したら使用場所を変更しての使用はなかなか大変。

ノートパソコンの長所短所

- 長所は持ち運びが出来る事です、価格が高いのが短所です。
- ノートパソコンは初心者ではメモリ以外のパワーアップが難しいので、ノートパソコンをメインで使用するなら、出来るだけ性能の良い物がおすすめです。

ノート・パソコンの本質は、ポータビリティにあります。

持ち運びが可能であることが、ノートの神髄です。デスクトップは設置したら使用場所を変更しての使用は、なかなか大変。ただ、デスクトップ型でも、家の中である程度の移動を考慮して作られたモデルもあります。

率直に言って、持ち運びの必要性が無い場合、できるだけデスクトップパソコンをおすすめします。

壊れにくく、キーボード等も大きいので長時間使用してもノートパソコンに比べ楽です。同じ価格なら、ノートパソコンよりも性能の良いものが購入できます。

もしお悩みならご自身の使い方をよく想像してみられるといいと思います。

タイプが決まったら次はいよいよ具体的に必要な機能スペックを確認しましょう。

スペックって何？

スペックとはパソコンの性能やそれをまとめた表のことです。スペックにはパソコンがどのようなハードウェアとソフトウェアで構成されているか書いてあり、パソコンの性能判断で欠かせないものです。パソコン選び際も必要な機能がついているか、必要な環境があるかなどが確認できます。

事務用で使いたい場合

- CPU 2.50 ^{ギガヘルツ}GHz ハードディスク 40 ^{ギガバイト}GB メモリー 256 ^{メガバイト}MB

動画編集等をしたい

- CPU 4.00 ^{ギガヘルツ}GHz ^{ペンティアム}Pentium4、ハードディスク 500 ^{ギガバイト}GB メモリー 1 ^{ギガバイト}GB

インターネット、メール等しかしない場合

- 低価格モデルで OK です

乱暴な言い方をすれば、CPU は、速ければ速いほど結構

こんなもんわかりまへんがな！と言われる方が多いでしょう

お店の良心的な店員さんや身近でパソコンに詳しい人とかに相談しましょう。

ちょっと雑談！！その1 パソコンの中身について

興味のある方は読んで下さい

まず、CPU の性能とは、いってみれば計算の速さといえるでしょう。CPU には、Intel 社の ^{ペンティアム}Pentium や ^{セレロン}Celeron、AMD 社の ^{アスロン}Athlon などとありますが、これはメーカーとその製品名を表しています。そのあとに 2.50 GHz (ギガヘルツ) などと書かれていて、最近の高性能のものでは 4.0 GHz なんてものもあります。これは、CPU がどれくらいの早さで動いているか(どれくらいの早さで計算できるか)を表しています。当然数字が大きくなると処理速度が速くなるわけです。しかしどんなパソコンも計算なんて一

瞬のうちにやっつけてしまいます。動画編集などの複雑な計算を長時間行う処理を主な目的とする以外、あまりこだわりすぎる必要はありません。

次に、メモリーは同時に作業できる仕事の量を決めるものということができると思います。インターネットをしていたが、メールを送りたくなった。同時に添付書類をつけようとして Word を立ち上げ、はたまた Excel を立ち上げ、あっ、そういえば画像を送ろうと思っていたんだといって Photoshop を、といて次々にアプリケーションを起動すると、(今どのくらい起動した。Internet Explorer, Outlook Express, Microsoft Word, Excel, Photoshop の 5 つか)メモリーが足りません、何かアプリケーションを終了させて下さい、って怒られちゃいます。まあ怒られるだけならいいけど、その前にメモリーが不足気味でパソコンを動かして続けていると、突然パソコンが止まってしまったりします。これが痛い、データを保存できてないのに強制的に終了させられちゃうから。最近パソコンが搭載している OS は Windows XP ですが、これは安定して動作するために、最低でも 512MB 程度のメモリーが必要とされています。インターネットの閲覧等の利用なら、これくらいで十分だと思いますので、参考にしてみてください。

HDD は作成したものを保存しておくためのものです。最近では 200GB (ギガバイト)が最低ラインで、ノート型でも 80GB なんてものがでてきたので、何でもいいでしょう。

最後にディスプレイの大きさは 17inch あった方がいいと思います。画面が広いとスクロールさせるのを最小限にできます。画面が小さいのはいってみれば机が狭くて勉強やりにくい、ちょべりばっ、てな感じです。大きい方がいいです。

基本的に大は小を兼ねる

メーカー製を購入の際注意事項！

メーカー製パソコンは 3 ヶ月周期で新機種が発売されます。春モデル、夏モデル、秋モデル、冬モデル。1 年で 4 回新機種が出ます。

新機種が出た頃、1 つ前のモデルを安く買う人がいます。があまりお勧めしません。(特に知識の薄い人)

ただし、販売店は、仕入れたパソコンを返品することができないので、赤字になるくらい安くしてでも売り切ろうとする場合があります。そのようなチャンスがあれば検討されてもいいかもしれません。

本当にお得なのはどれ？

みんなが買うから安心とは限らない。

売れ筋 = 良いパソコン”ではない。値段だけで決めてはだめですよ。

一流メーカーだから安心とは限らない。

店員が薦めるパソコンが良いとは限らない。

店員が薦めるパソコン = お店が売りたいパソコン と、考えるべし。

できればパソコンに詳しい人に同行してもらうのがベストです。

購入後のサポートも重要なポイント。

多少高くても、アフターサービスの充実したお店(店員さん)で購入しよう。

ある販売店では購入価格に定めた時間出張サポートをしてもらう方法で販売している店があります。これはユーザーもとても喜ばれているようです。

必要なインターフェース等がついているか再度チェックしよう！

フロッピーディスクドライブが付いているかどうか

(最近はずしもついてなければ不便でもない時代になったようです。ついでに望ましいと表現致します)

DVD ドライブは書き込みができるか？(DVD-RW)

特に最近のデスクトップパソコンでは、DVD を作成できるドライブ(DVD-RW など)が標準搭載されるようになりました。大容量のデータ保存やオリジナル DVD の作成など用途は広いので、書き込み機能があるか確認しましょう。

ユーザーインターフェイス

USB、^{ファイリフ・ルイ-}IEEE 1394、PCカードスロットの有無は、そのパソコンの拡張性に直結しています。特にノートパソコンはデスクトップパソコンとは異なり、後で増設出来ない場合が多いので、出来るだけ装備している機種が良いです。USB端子は最も良く使われる端子なので、最低2個は有ると良いでしょう。

中古品に関して

パソコンの知識が薄い方には中古品はあまりおすすめしません。特に、2000年以前に発売されたのマシンはまずやめておくほうがいいと思います。

譲り受ける場合は付属品をよくチェックしましょう。

(詳しい人に見てもらうこと！！)

まったくの初心者ならば、新品を！

初めてパソコンに触るという初心者ならば、新品のパソコンをおすすめします。

ちょっと雑談！！その2 目的でパソコンを使い分ける

欲をいえば出来れば事務用のパソコンと多目的用は別のパソコンにする。インターネットに接続しているパソコンはウイルスの進入の可能性があるので、とてもリスクが高いのです。

仕事マシン と お遊びマシンとの共用は、ズバリ愚行。

最後に

パソコンは上手く使えばとても素晴らしい道具です。

くれぐれもあなたの目的にあったものをチョイスして快適パソコンライフを満喫して下さい！！

2 . 起動・終了

Windows の起動

パソコンの電源スイッチを押す(モニタの電源が入っていない場合はモニタの電源スイッチも押します)と、モニタ上に起動画面が現れます。通常は特に何も操作しなくても、自動的に Windows が起動します。



起動時のエラー

電源を入れても画面が出てこない

- ・ コンセントは抜けてないですか？
- ・ モニタの電源は入ってますか？
- ・ FD (フロッピーディスク) が入ったままではないですか？

スキャンディスクの画面になる

- ・正しく終了しなかったため、ウインドウズの起動時に、ハードディスクに損傷がないかを「スキャンディスク」(XP では「チェックディスク」といいます。)というソフトで、自動的に検査することです。

```
ファイル システムの種類は NTFS です。
ボリューム ラベルは IBM_PRELOAD です。

警告: /F パラメータが指定されていません
CHKDSK を読み取り専用モードで実行します。

CHKDSK はファイルを検査しています (ステージ 1/3)...
ファイルの検査を完了しました。
CHKDSK はインデックスを検査しています (ステージ 2/3)...
インデックスの検査を完了しました。
CHKDSK は破損ファイルを回復しています。
孤立したファイル "DFBA95.tmp (36544)" をディレクトリ ファイル 9455 に回復します。

CHKDSK はセキュリティ記述子を検査しています (ステージ 3/3)...
セキュリティ記述子の検査を完了しました。
```

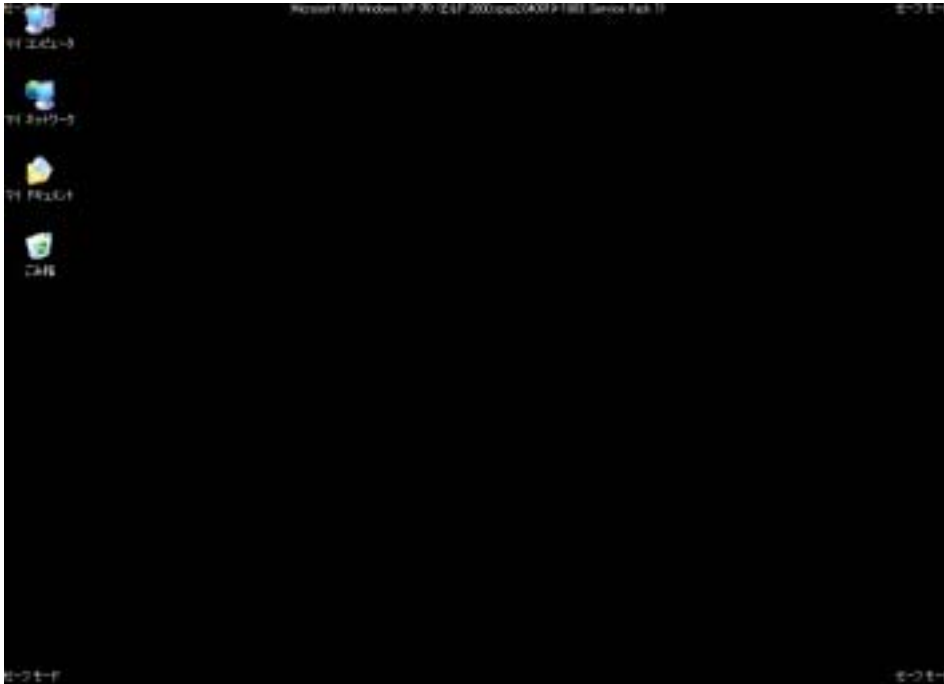
問題がなければ、そのまま起動します。もしもハードディスクが損傷していた場合は、その旨を報告、あるいは修復し、損傷部分を排除します。

Safe モード画面になる

- ・操作に必要な最低限の機能のみを組み込んだ Windows 環境で起動する事を Safe モードといいます。

この Safe モードでは、ユーザーが独自に設定した環境はすべて無視され、デバイスも「キーボード」「マウス」「モニター」「フロッピーディスクドライブ」など、基本操作に必要な分しか組み込まれません。本体から独立して接続されている(外付け)のハードディスクなども認識されません。

Safe モードはエラー原因を追求する為のモードです。Windows の動作におかしいところがあった場合、Safe モードで起動できるかどうかを確認する事で、致命的な問題があるか、無いかを判断できます。




Windows の終了

いきなりパソコンの電源を切ってはいけません。次に起動したときに、正常に起動しないことがあるからです。

終了の手順

- 1 . スタートボタンをクリックします。
- 2 . スタートメニューの **Windows** の終了をクリックします。
- 3 . **Windows** の終了のダイアログボックスが表示されます。「終了」となっているのを確認して「OK」をクリックします。
- 4 . 「コンピュータの電源を切る準備ができました」と表示されたら自動的に電源が切れます。
電源が自動的に切れない場合は、電源ボタンを押してオフにします。



コンピュータの電源を
切る準備ができました

終了しない場合

強制終了

1. [Ctrl]キーと[Alt]キーを押しながら[Delete]キーを押します。
「Windows タスクマネージャ」画面が表示されます。一覧から応答がないアプリケーションを選択し終了させます。終了を確認するメッセージが表示された場合は[終了]ボタンをクリックします(この方法では作成していた文書などを保存することができません)。
2. 1の方法で終了できない場合は、[Ctrl]キーと[Alt]キー、[Delete]キーを押して「Windows タスクマネージャ」画面を表示し、[シャットダウン]メニューから[再起動]または[コンピュータの電源を切る]を選択します。終了を確認するメッセージが表示された場合は[終了]ボタンをクリックします。[Ctrl]キーと[Alt]キー、[Delete]キーを押しても「Windows タスクマネージャ」画面が表示されない場合は、[Ctrl]キーと[Alt]キーを押したまま[Delete]キーを何回か押してください。
3. 1, 2の方法でも終了できない場合は本体の電源ボタンを5秒以上押し続け、電源を切ります。その後、しばらくおいてから再度電源を入れるとスキャンディスクがはじまります。スキャンディスクが終了するとWindowsが起動します。

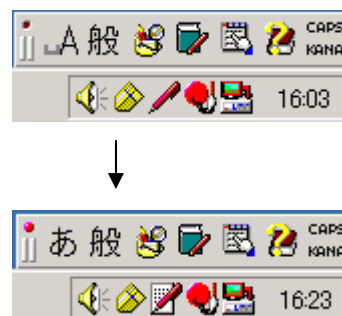
3 . 文字入力

MS-IME について

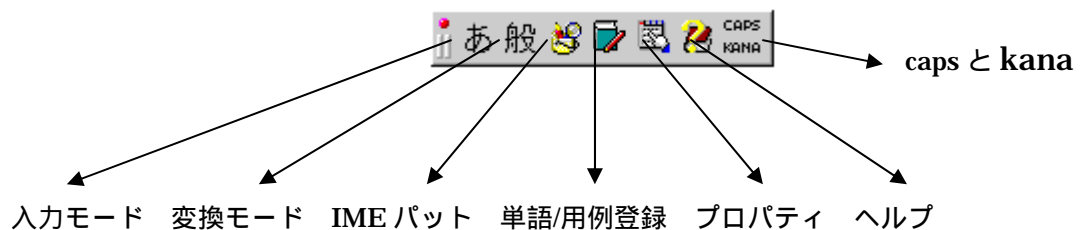
MS-IME とはキーボードから入力した文字を漢字に変換するマイクロソフト社の日本語入力システムです。

MS-IME の起動方法

直接入力（半角英数字）のときペンの形をクリックすると日本語入力が可能になります。または、Alt を押しながら半角/全角キーを押すと同様の操作が出来ます。



IME のツールバー



モード表示	入力モード	入力される文字	入力例
 あ般  ひらがな  全角カタカナ  CAPS KANA	ひらがな	ひらがな(全角文字)	あ か さ
 か般  ひらがな  全角カタカナ  CAPS KANA	全角カタカナ	カタカナ(全角文字)	ア カ サ
 A般  ひらがな  全角カタカナ  CAPS KANA	全角英数	英数字(全角文字)	a b 1 2
 か般  ひらがな  半角カタカナ  CAPS KANA	半角カタカナ	カタカナ(半角文字)	アカサ
 A般  ひらがな  半角カタカナ  CAPS KANA	半角英数	英数字、記号(半角文字)	a b c
 A般  ひらがな  半角カタカナ  CAPS KANA	直接入力	英数字、記号(半角文字)	a b c

IME パット：読み方がわからない漢字を入力するときに使う。手書き変換、画数変換など

単語/用例登録：よく使う言葉を辞書に登録するときに使う。

プロパティ：IME に関する各種の設定が出来る。

ヘルプ：クリックして表示されるメニューからヘルプを起動する。

カナキーと CAPS キー：カナキーロック状態と CAPS キー状態を示す。

入力方式について

日本語を入力する方法には「ローマ字入力」と「かな入力」があります。

入力方式の切り替えは MS-IME のツールバーの  をクリックして切り替えます。

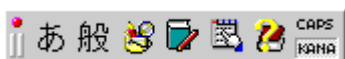


現在、入力方式が「ローマ字入力」か「かな入力」かはツールバーの状態で判断できます。

●ローマ字入力するとき



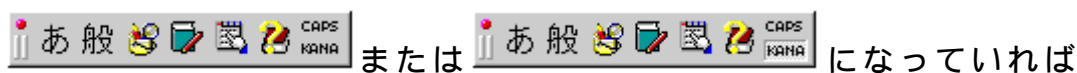
●かな入力するとき



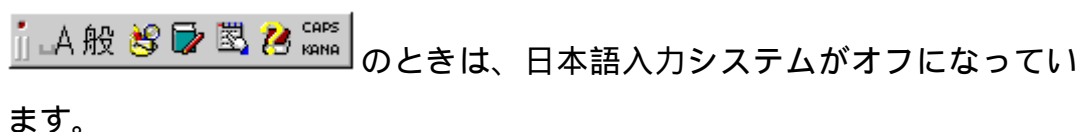
ひらがな、カタカナ、英数字の入力


ひらがなの入力

MS-IME の日本語入力システムがオンになっているかどうか確認します。



OK です。



オフになっているときは、キーボード左端にある  キーを押してオンにしてください。

再度押すと、オフに戻ります

カタカナの入力

カタカナを入力するには、MS-IME のツールバーの入力モードをカタカナに切り替える必要があります。

切り替えの手順は次のとおりです。

1. 入力モードのボタンをクリックする。



2. 次のようなリストが表示されるので、「全角カタカナ」にマウスのポインタを合わせ、クリックする。



入力モードのアイコンが あ から カ にかわる。



英字・数字の入力

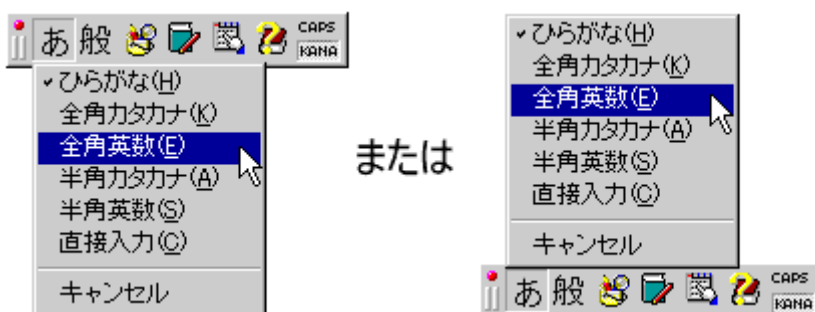
キーボードのひとつのキーにはふたつ以上の文字が割り当てられているため、英字・数字を入力するには、キーボードを英字・数字が入力できるような状態に切り替える必要があります。英字・数字が入力できるようにするには、ツールバーの入力モードのボタンをマウスでクリックし、入力モードを「英字・数字」に切り替えます。

切り替えの手順は次のとおりです。

1. 入力モードのボタンをクリックする。



2. 次のようなリストが表示されるので、「全角英数」にマウスのポインタを合わせ、クリックする。



3. 入力モードのボタンが あ から A にかわる。



漢字の入力

1. IME ツールバーの状態を確認する



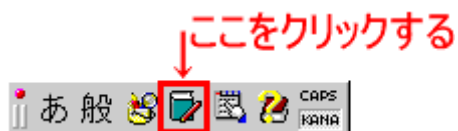
2. キーボードから文章を入力する
3. **変換キー**または**スペースキー**で変換する。

単語の登録

人名や地名など辞書に登録されていない単語や、よく使う単語を登録することができます。これを「**単語登録**」といいます。

例) 「絵理香」を、読み「えりか」で変換できるようにする。「東京都葛飾区柴又」を、読み「しばまた」で変換できるようにする


単語を登録するには、MS-IME のツールバーの「**単語/用例の登録**」を使います。

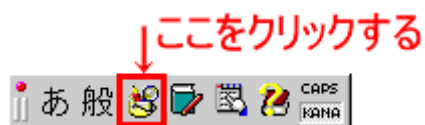





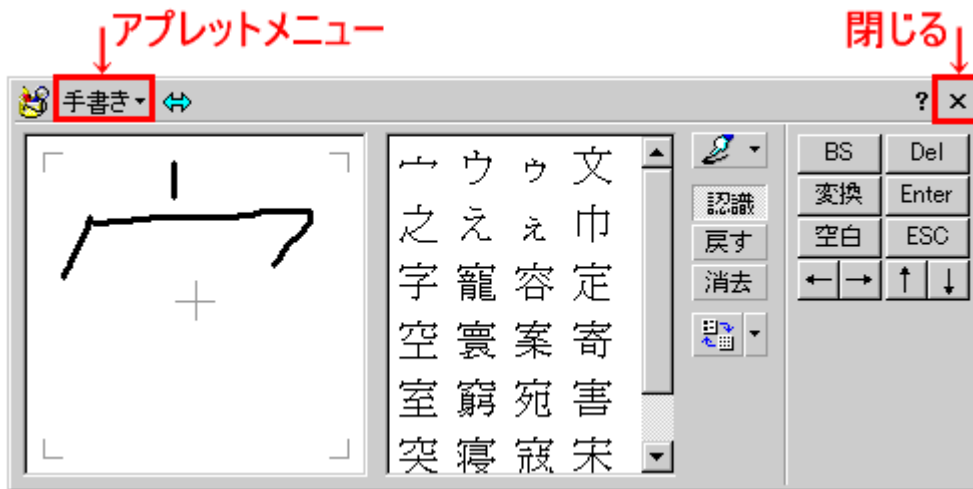
読み方のわからない文字を入力

「手書き」


IME パッドはツールバーの  (IME パッド) をクリックすることで起動します。

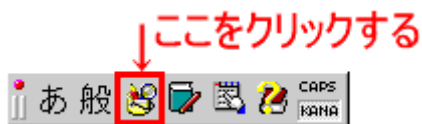


「手書き」、「総画数」、「部首」の切り替えは、IME パッドの「**アプレットメニュー**」から行います。また、 (閉じる) をクリックすると IME パッドを終了することができます。

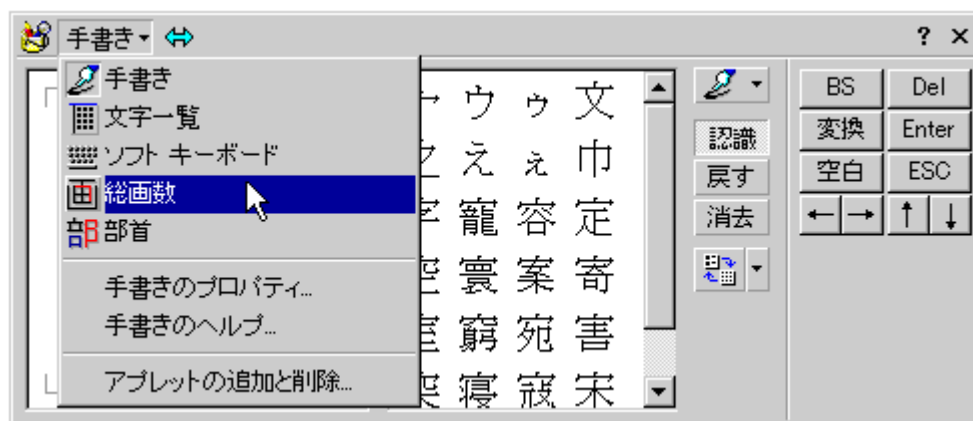




「総画数」

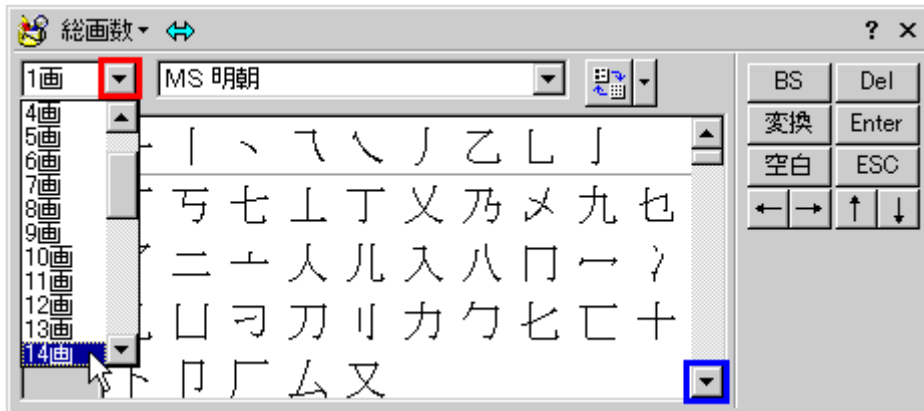
1. ツールバーの  (IME パッド) をクリックし、IME パッドを起動します。



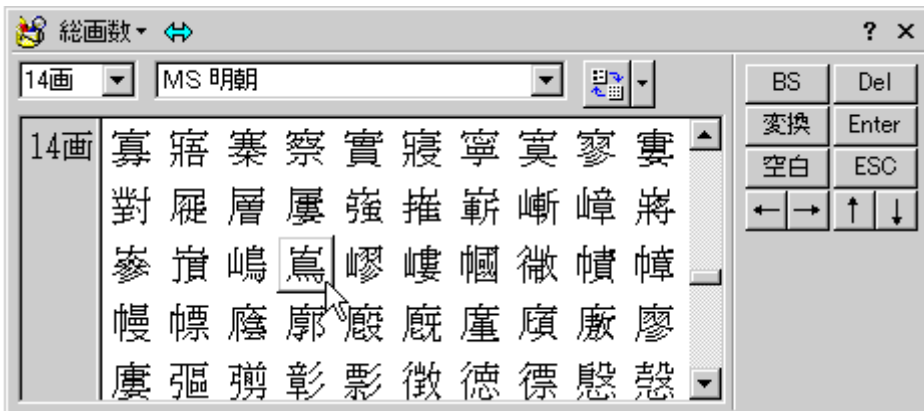
2. アプレットメニューより、「総画数」を選択します。



3.  を押して 14 画をクリックし、鳶 を探します。一覧にない場合は、 を押すと他の候補が表示されます。



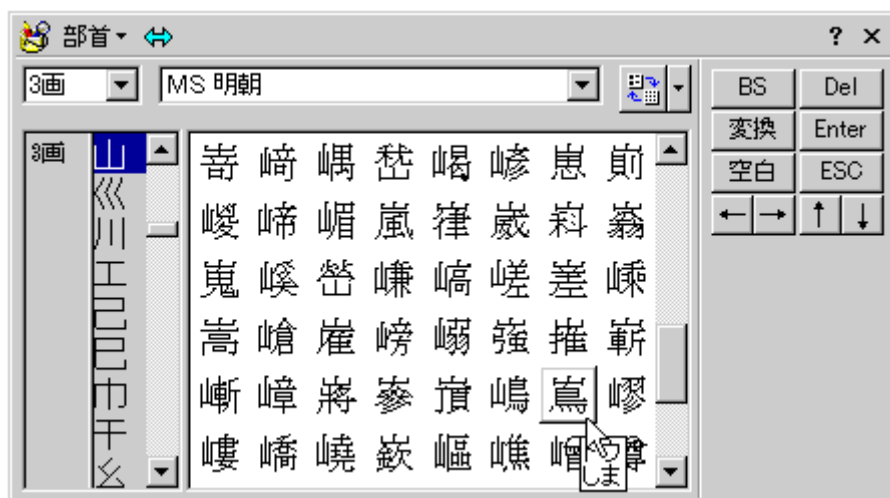
4. 鳥 をクリックします。 この画面とは違う位置にある場合があります。



5. 《Enter》キーを押して確定し、 (閉じる) をクリックします。

「部首」

1. IME パッドを起動します。
2. アプレットメニューより、「部首」を選択します。
3. 部首画数を 3 画にし、山 を選択します。
4. 鳥 をクリックします。 この画面とは違う位置にある場合があります。

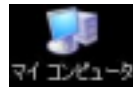


5. 《Enter》キーを押して確定し、 (閉じる) をクリックします。

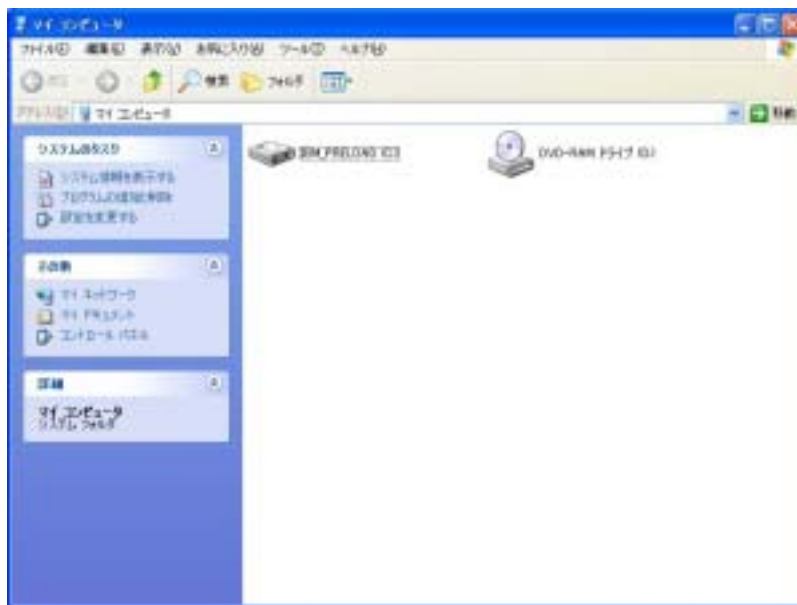
4 . ファイルとフォルダの操作

マイコンピュータ

マイコンピュータを使うことにより、自分のコンピュータに保存されているファイルやフォルダの中身を見たり、操作することができます。



マイコンピュータ をダブルクリックする
内容が表示される



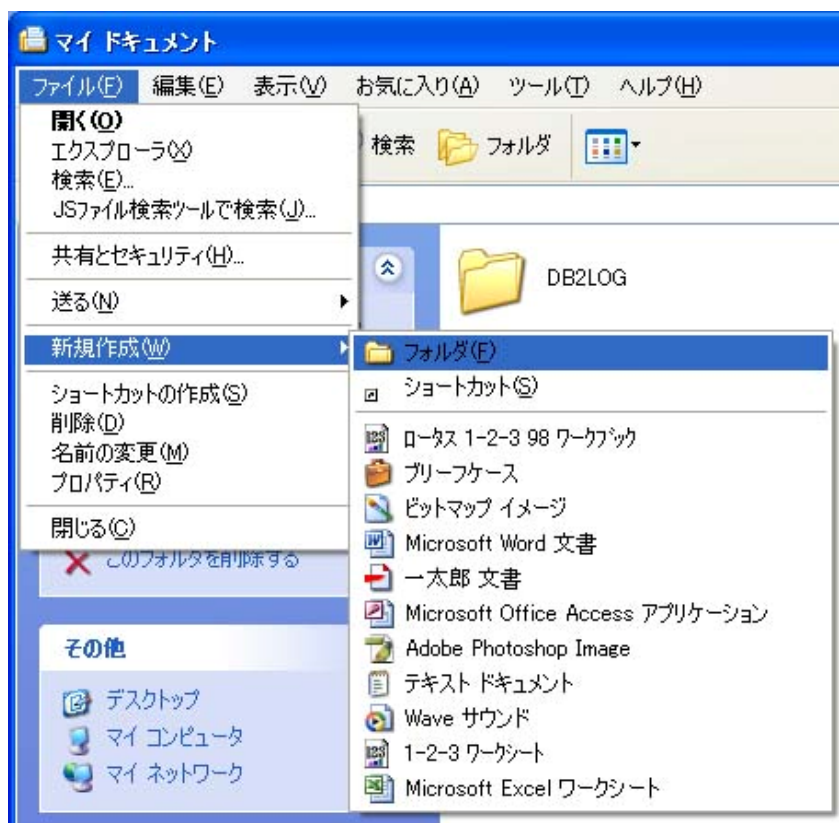
ハードディスクをダブルクリックする
MyDocuments をダブルクリックする
MyDocuments の中身が表示される
このようにファイルやフォルダの中身を知ることができます

表示の方法を変更する
表示の方法には、「大きいアイコン」、「小さいアイコン」、「一覧」、「詳細」とあり、それぞれ表示内容が異なります

フォルダの作成

MyDocuments の中に「練習」というフォルダを作成してみましょう

[ファイル] - [新規作成] - [フォルダ]



「新しいフォルダ」が表示されるので、「練習」と入力する
「練習」というフォルダが作成される



移動

移動の方法は複数ありますが、ここではドラッグ&ドロップの方法を説明します。さきほど作成した「練習」というフォルダをデスクトップ上に移動します。

「練習」フォルダをマウスの左ボタンでデスクトップまでドラッグし、デスクトップ上でボタンを離すと「練習」がデスクトップ上に移動します。ファイルの移動も同じ要領です。

異なるドライブに移動する際は SHIFT キーを押しながらドラッグします。

コピー

フロッピーディスクにコピーするために、フロッピーディスクのフォーマットを行います。

フロッピーディスクをドライブに入れ、マイコンピュータをダブルクリックします

「3.5 インチ FD」アイコン上にマウスポインタを重ね、右クリックします

[ファイル] - [フォーマット] をクリックします

「通常のフォーマット」をクリックし、「スタート」または「開始」をクリックします

マイコンピュータで「MyDocuments」と「3.5 インチ FD」を開きます

「MyDocuments」から「3.5 インチ FD」へマウスをドラッグすると、フォルダがコピーされます。ファイルのコピーも同じ要領です。同じドライブ上にコピーする場合は、Ctrl キーを押しながらドラッグします

なお、コピーの場合には、マウスポインターに + が表示されます

名前の変更

- 「MyDocuments」の「練習」フォルダの名前を変更してみましょう。
- 「練習」フォルダ上で右クリックします
- 「名前の変更」をクリックし、「練習」という文字を反転表示させます
- 変更したい名前を入力します

削除

削除したいフォルダ、ファイルをドラッグし、デスクトップ上にある「ごみ箱」の上でボタンを離します。

ごみ箱の中のファイルは完全に削除されていません。そのために、定期的にごみ箱をからにする必要があります。

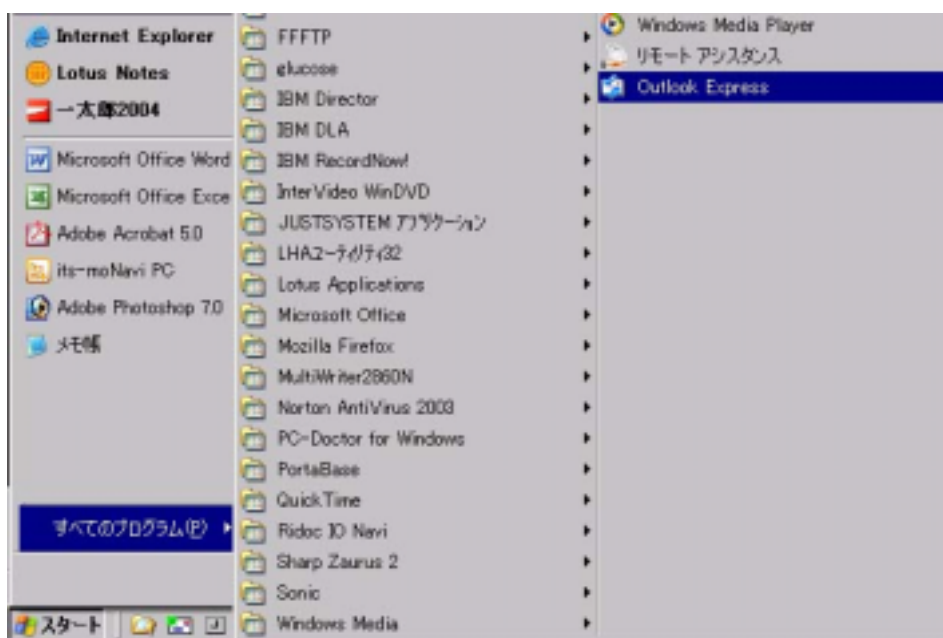
- 「ごみ箱」を右クリック
- 「ごみ箱を空にする」をクリック

5 . メール

Outlook Express の設定

最初に一度だけ行う作業

- 1 . スタートボタンの「すべてのプログラム(P)」の中から、**Outlook Express** を選択します。



- 2 . インターネット接続ウィザードが起動するので、必要な情報を入力します。

表示名は自分の名前を入力します。ローマ字でもかまいません。

電子メールアドレスはプロバイダから発行された、あなたのメールアドレスを入力します。

受信メールサーバー(Pop3)、送信メールサーバー(SMTP)は、プロバイダから指定された情報を入力します。

アカウント名、パスワードも同様にプロバイダから指定された情報を入力します。

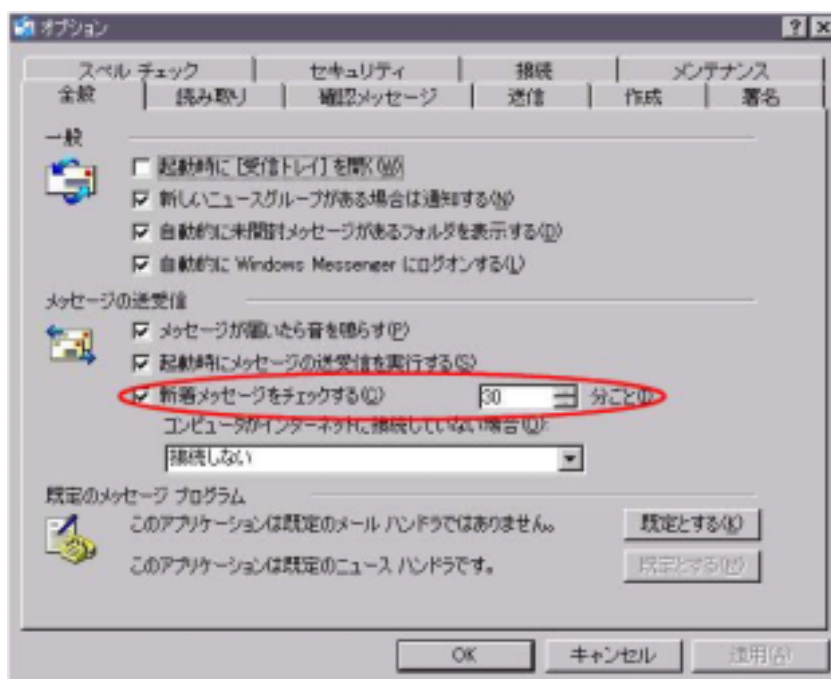
これでメールを送受信する設定が完了しました。

3. Outlook Express の動作に関する設定を行います。

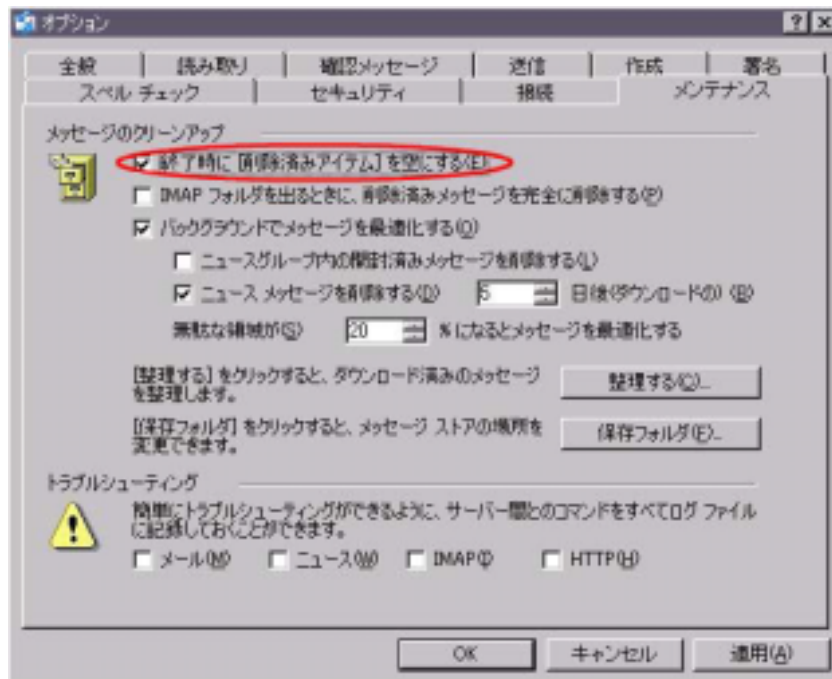
「ツール」メニューの中の「オプション」をクリックします。




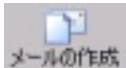

「新着メッセージをチェックする」項目を設定します。ここで設定された時間おきに、メールをチェックするためにインターネットに接続します。ADSL 等の常時接続環境でない場合は、接続のたびに通話料がかかりますので、ご自分の通信環境に合わせて設定しましょう。



「終了時に [削除済みアイテム] を空にする」にチェックを入れておきましょう。削除したメールを完全に消去することにより、ディスク容量の圧迫を軽減できます。



2 回目以降の起動

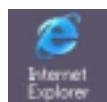
1. スタートボタンの「すべてのプログラム(P)」の中から、Outlook Express を選択します。
2. 送受信ボタン  をクリックします。新しいメールが届いていれば、受信トレイにメールが表示されます。
3. 自分でメールを作成するときは、メールの作成ボタン  をクリックします。宛先欄に相手のメールアドレスを入力し、件名、本文をそれぞれ入力して、送信ボタン  を押すと、メールが送信されます。

最後に

近年、メールを感染源とするコンピュータウイルスが急増しています。本書の第7章 ウィルス・セキュリティを参照のうえ、対策ソフトを購入するなど、十分な対策を取りましょう！

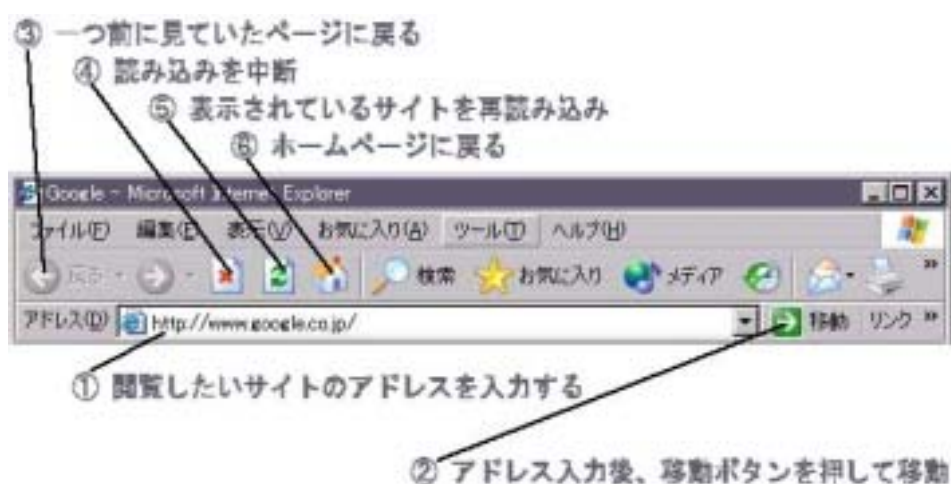
6 . インターネット

Internet Explorer の起動



デスクトップ上のアイコンをダブルクリックします。接続ウィザードが表示される場合は、プロバイダから送られてきた資料を基に設定を行ってください。

Internet Explorer の主な機能



情報を検索する

インターネットで何かを調べたいとき、情報が掲載されているページのアドレスがわからないときは、検索サイトを利用しましょう。主な検索サイトには次のものが挙げられます。

Google <http://www.google.co.jp/>

Yahoo <http://www.yahoo.co.jp/>

Excite <http://www.excite.co.jp/>

Internet Explorer のアドレス欄に上記のアドレスを入力し、移動ボタンを押して検索サイトを表示します。



検索したい情報を入力して、検索ボタンをクリックすると、情報が掲載されたページの一覧が表示されます。一覧から閲覧したいページをクリックすると、そのページに移動します。

インターネット利用にあたっての注意点

インターネット上で閲覧できるページの全てが安全とは限りません。悪意をもって作成されたページを不用意に閲覧すると、常に広告が表示されるように設定を勝手に変更されてしまったり、接続先を勝手にダイヤル Q2 や海外に変更されて法外な通話料を詐取されるケースもあります。特に成人向け情報が掲載されたアダルトサイトで、このような被害が多く発生しています。第 7 章で説明するウイルス対策ソフトの多くは、このような不正な設定変更を防止する機能が搭載されています。対策ソフトを導入するほか、怪しいページを不用意に開かないなど、節度ある利用が必要です。

その他、利用にあたってのトラブルは、以下のサイトが参考になります。

<http://homepage2.nifty.com/winfaq/c/ietrouble.html>

7 . ウイルス・セキュリティ

ウイルスの侵入経路

一昔前はフロッピーディスクなどを介してファイルをやり取りすることで感染を拡大しました。しかしインターネットが普及した現在、ウイルスのほとんどはインターネットを経由して入って来ます。

なかでもメールでの感染がウイルス感染経路の約9割を占めています。メールで感染するウイルスは添付ファイルで感染するタイプとHTMLメールで感染するタイプの大きく二つに分けられます。HTMLとはホームページを作成するための書式ですが、これを悪用しメールを開いたパソコンにウイルスを送り込むものです。同じくHTMLメールを悪用し、ホームページを見ただけで感染するウイルスもあります。

最近ではネットにつないただけで感染するウイルスも出現しています。

ウイルス予防

ウイルスに感染しないために最低限やっておきたい対策としてウィンドウズアップデートとセキュリティソフトの導入です。以下に販売数において大きなシェアを持つセキュリティソフトを紹介します。

・ソフトの種類

ウイルスバスター2005 インターネットセキュリティ
(トレンドマイクロ)

<http://www.trendmicro.com/jp/products/desktop/vb/evaluate/overview.htm>

ノートン インターネットセキュリティ 2004
(シマンテック)

<http://www.symantec.com/region/jp/products/nis/>

マカフィー インターネットセキュリティスイート
(日本ネットワークアソシエイツ)

http://www.mcafeesecurity.com/japan/mcafee/home/internet_securitysuite.asp

・更新の必要性

今すぐ実行でき、最も重要なウイルス対策はウィンドウズアップデートをすることです。また1回やったからといって安心しないで、セキュリティホールが見つかったというニュースを目にしたら、できるだけ早くアップデートをすることが大切です。

ウイルスの感染対処

もしパソコンにこんな症状が出た時はウイルスに感染した可能性があります。

「パソコンの調子が何となくおかしい。」「操作していないのにパソコンが勝手に動作する。」「見慣れないものが表示され画面がいつもと違う」このような感染を疑う症状が出た場合、セキュリティソフトを導入していればそのソフトを使うのが良いのですが、何も対策していない時はインターネット上にウイルスチェックサービスがあるのでそれを利用すると良いでしょう。

- ・トレンドマイクロのオンラインスキャン

<http://www.trendmicro.co.jp/hcall/index.asp>

- ・シマンテックのウイルススキャン

<http://www.symantec.com/region/jp/securitycheck/>

これらのサービスを利用してウイルスが検出された時には、ウイルスを駆除する必要があります。そんな時は先に紹介したセキュリティソフトを購入して導入することが得策だと思います。

スパイウェア、アドウェア

「スパイウェア」とは、その名のとおり、スパイのようにいつの間にかパソコンに入り込んで、情報を盗んでは、第3者に送り続けるプログラム

です。

スパイウェアは当初、フリーソフトを無料で使わせるかわりに、サイトの閲覧状況などから利用者の行動を把握し、その嗜好に合った広告を表示するものでした。しかし最近では、キーボードから入力した文字や、ほかのソフトに入力された個人情報を送信したり、開いた画面を画像にして記録したりする悪質なもので発見されています。

悪質なスパイウェアが増えるにつれ、広告表示だけを目的とした比較的実害の少ないプログラムは「アドウェア」と呼ばれるようになってきています。とはいえ、スパイウェアとアドウェアの境界線は非常にあいまいで、利用者にとっては、どちらも迷惑なものであることに変わりはありません。

スパイウェアやアドウェアを撃退するためにはスパイウェア専用の駆除ソフトを使う必要があります。代表的なソフトを紹介します。

- ・ SpyBot-S&D <http://www.safer-networking.org/>
- ・ Ad-aware6.0 <http://www.lavasoft.de/japanese/>

8 . 情報化社会のモラル

著作権

・不正コピー

最近パソコンも普及し、みなさんの身の回りの友人もパソコンを使用している人が増えてきているのではないのでしょうか。友人達と電子メールで連絡を取りあったり、操作について判らないことや便利な使い方を情報交換するのは楽しいことと思います。そういった友人の中には、自分が欲しいと思っていた高価なソフトウェアを持っている人もいるかもしれません。

しかし、例えばその友人からそのソフトウェアを貸してやると言われても、自分のパソコンに友人のソフトウェアをインストールしてはいけません。

パソコンのソフトウェアは「ソフトウェアのパッケージそのもの」を買うのではなく、「ソフトウェアによりパソコン上で実現する機能の使用権」を買っているのです。ほとんどのソフトウェアが、1台のパソコン上で、ユーザー登録をした使用者のみが使用することを許諾しています。もし、他人のソフトウェアを自分のパソコンに入れてしまうと、著作権を侵害することとなります。

また、近年のパソコンの機能向上は著しく、高性能なパソコンを安価に買えるようになってきています。多くのパソコンはCD-RやDVD-Rといった、簡単にCDやDVDを作成できる機器が組み込まれています。これらの機能を利用して、上述のパソコンソフトだけでなく、他人が作った音楽や映像作品をコピーする行為が目立つようになってきました。

もちろん、こうした行為は著作権を侵害する違法行為です。市販されているCD等は個人で楽しむため以外のコピーは認められていません。

・不正ダウンロード

インターネットの普及と接続回線の高速化が急速に進展したことにより、ネット経由で大きなサイズのファイルをダウンロードすることが可能となりました。そこで、個人が持つファイルを簡単に交換できるよう考え出されたのが、PtoP(Peer to Peer)ソフトウェアです。最近では一部雑誌等に

も Winny や WinMX といった PtoP ソフトウェアが大きく紹介されています。

PtoP ソフトウェアはインターネットに接続した個人が自分のパソコンに保存しているファイルをネット上に公開して、誰でもそのファイルをダウンロードできるようにします。

本来の目的は、自作の作品を多くの人に見てもらったり、フリーソフトを配布する目的で使用されるものですが、現実には他者が著作権を持つCDやソフトウェアを違法に公開し、ダウンロード出来るようにしているユーザーが多いのが実情です。もちろん、このようなファイルを実際にダウンロードしたり、あるいは自分自身が他者が著作権を持つソフトウェア等を公開したりすることは違法行為となります。

ネットマナー

インターネット上には、自由に意見交換をできる「掲示板(BBS)」と呼ばれるものが沢山存在します。例えば、雑誌などにも紹介される「2ちゃんねる」は、世界最大規模の掲示板群で、毎日何百万人ものユーザーが意見を書き込みます。

インターネット上の掲示板は相手の顔が見えず、また匿名性が高いため、つい書き込む内容が過激なものになりがちです。ごくわずかな言葉の行き違いが大きな問題を引き起こすこともあります。不用意な発言は、名誉毀損や侮辱罪、脅迫罪などの違法行為となる場合がありますので、書き込む内容には十分注意し、また記録が残ることも十分に考慮しましょう。

ネット詐欺・架空請求からの自己防衛

最近、掲示板等に掲載された「仕事紹介」や「ネズミ講」にまつわる被害が増加しています。また、ネットショッピングやネットオークションで、お金を振り込んだのに商品が届かない、あるいは違う商品が届けられたという被害もあります。手軽で便利なインターネットであればこそ、商品を提供する業者の信頼性を確認するなど、細心の注意が必要です。

また、使ってもいない有料サイトの使用料などを請求してくるケースも増加しています。架空の会員番号をでっちあげたり、裁判に持ち込む、回

収業者が直接職場に行く等の脅迫まがいの文言を送りつけてくる場合もありますが、架空請求であれば、実際にそのようなことが行われることはありません。請求がしつこく繰り返されたり、不安な場合は、国民生活センターに相談しましょう。

国民生活センター <http://www.kokusen.go.jp/>

9 . T i p s

Windows を操作するうえで、憶えておくトクをするちょっとしたテクニックをご紹介します。

メモリの最適化

Windows 上でソフトウェアを動かす際には、メモリと呼ばれる電子的な作業領域を消費します。動かすソフトウェアによって、メモリの使用量は異なりますが、同時に複数のソフトウェアを動かしたり、複雑な処理を行う大規模なソフトウェアを動かしたりすると、より多くのメモリを使用します。

基本的に、使用されたメモリはソフトウェアを終了させると同時に解放されて初期化され、次のソフトウェアを動かす際に再び使用できます。Windows2000 や WindowsXP ではこの原則が比較的忠実に実行されていますが、Windows98 や Windows95 では、ソフトウェア終了後もメモリが解放されない不具合が希に発生します。そうなると時間がたつにつれてメモリの量が不足し、ソフトウェアの動作が不安定になったり、最悪の場合は OS 自体が止まってしまったりします。

このようなトラブルの発生を低減するために、メモリの最適化を行うソフトウェアがあります。インターネット上で探せば、フリーのメモリ最適化ソフトが多く発表されていますので、Windows98 を使用している場合は内容を比較検討して、導入してみるもの良いかもしれません。

ソフトウェアは Vector などと探すと良いでしょう。

<http://www.vector.co.jp/>